

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市制施行50周年記念式典等実施事業				会計	款	項目	大専	小専
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			01	02	01	01	02
施策	6-1	市民参加の地域社会づくり			01	02	01	02	52
					主管課	秘書広報課			
					主管課長	須郷 和彦			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内外関係者	意図	市制施行50周年を記念し、記念式典を挙げる。
事業内容	流山市は昭和42年1月1日に県下20番目に市制を施行して以来、50年を迎えた。これを記念し、平成29年1月21日（土）に、文化会館において記念式典を開催。本市発展に功績のあった個人に表彰状、団体に感謝状を授与。また、記念映像を上映。また、平成28年9月に本市初の名誉市民となった日本画家（故）後藤純男氏の名誉市民推戴式を挙げる。			
事業開始から現在までの状況変化	平成29年1月21日、文化会館において記念式典を開催し、市内外から関係者約600名が出席した。式典においては本市発展に功績のあった個人193名に表彰状を、60団体に感謝状を授与したほか、（故）後藤純男氏の名誉市民推戴式を挙げる。また、記念映像を作成し、式典内で上映したほか、市ホームページにて公開。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	市制施行50周年記念功労者表彰受賞者			193	
②	市制施行50周年記念感謝状贈呈団体			60	団体		
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト							市制施行から50周年を迎え、これまでの功績を称えるため、市政発展に寄与した個人193名に表彰状を、60団体に感謝状を授与した。また、国、県、市議会議員、姉妹友好都市の首長、議長をはじめ、多くの来賓にご臨席いただいた。また（故）後藤純男氏のご家族にご臨席いただき名誉市民推戴式を挙げる。開催にあたり、流山市合唱連盟に国歌及び市民の歌の歌唱を、流山市音楽家協会に式典前の演奏を、流山市文化協会華道部に壇上花の作成いただき、市民と協力し、式典を盛大に実施することができた。
事務事業の総コスト(a=b+c)				3,124,135			
事業費(b)(円)				2,325,735			
うち一般財源				2,325,735			
職員給与費(c)(円)				798,400			
人役・職員(人)				0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)				0.10			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	新規事務事業により記載なし	③取組の課題	式典の一部を市民と協働で行うことで、記念式典をより多くの市民とつくりあげることができるため、今後の開催については検討の余地があると考えられる。
②今年度(H28)に実施した取組	新規事務事業により記載なし	④今後の改善計画	今後の市制施行記念式典の実施に向け、検討を進める。また、表彰対象者については継続的に情報を収集していく。